

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	【アスンシオン市バニヤード・スール地区における住民の健康状態改善】 家庭保健ユニットの能力強化により地域での保健活動を活性化させる。これにより住民の地域保健活動への参加を向上させ、保健・予防促進活動を推進することで健康状態の改善を目指す。また、家庭保健ユニット診療所の建設によって地域保健活動に適した衛生的な環境を整える。
(2) 事業内容	(ア) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 パラグアイ厚生省からの要望により、予定していた家庭保健ユニット 12 ユニットに対象地区内に増設された 1 ユニットの増やし合計 13 ユニットの対象に実施している。 【外部専門家、ADRA 専門スタッフによる保健推進員への研修】 申請時に計画していた研修回数は 40 回 (4 グループ×10 回) であったが、研修内容を増やしたことによって研修回数が 78 回 (4 グループ×18~19 回、合同研修 3 回) に増えた。 予定している研修、全 78 回の内、8 月末までに 38 回を実施した。(全体の約 49%) 研修開始前に各ユニットで現状の聞き取り調査を行い、同時に SWOT 分析¹を行なった。当初から予定していた「健康保健員の保健予防活動のための知識不足」と「住民に対する活動の実施能力向上」の 2 点の重点項目の他、薬物や貧困等複雑な問題を抱える住民達に向き合わなければならない保健推進員がストレスにさらされている現状が見えてきたため、「介護者側である保健推進員へのケア」も必要であると判断し、これを研修内容に取り入れることにした。研修に出来るだけ多くの保健推進員が参加しやすいように近くに位置する家庭保健ユニットを同じグループにし、3 グループで研修を開始した。しかし人数の偏りや積極性等を考慮し、8 月から 4 グループに再編成した。 6 月から洪水が徐々に始まり、6 月までに避難のために移動した家庭保健ユニットが 2 ユニットある。現在避難場所で活動を継続している。また、この洪水の為に中止された研修は 2 回で全研修の 2% にあたる。研修終了後にフォローアップする予定である。 【ADRA 専門スタッフによる家庭保健ユニット職員の活動サポート】 7 月に各家庭保健ユニットが行なっている妊産婦クラブ活動をモニタリングした。妊産婦クラブ活動については他の NGO が介入しており定期的に活動できているユニットが多かった。既に支援をしている NGO は栄養補強のための補食を提供している。家庭保健ユニットとこの NGO と協議し、幣団体からは指導内容の強化を支援することとした。現在は出産に向けた筋肉トレーニングのためにバランスボールを使った指導を実施している。 また活動が活発でなく、他の支援団体等による介入のない高血圧・糖尿病のクラブ活動については、それぞれの家庭保健ユニットの保健推進員と話し合い、計画立案を支援している。

	(イ) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 診療所建設に関わる厚生省や土地管理者（行政、現在の土地使用者）との手続きに時間がかかり、やや遅れが生じたが、9月中に建設開始が可能となる見込み。既に厚生省による設計図の承認手続きや入札準備等は済ませた。
(3) 達成された効果	(ア) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 成果 対象とする家庭保健ユニットの現状をそれぞれの職員と共有できたことで、今後の改善点や研修の有効活用について互いに確認することができた。また、「支援者（家庭保健ユニット職員）ケア」という視点はこれまで扱われておらず、参加者からも期待が高い。 活動サポートについては特にサポートの必要なユニットやテーマを重点的に支援すること、また地域内のリソースを適切に使い、相互支援・連携の形を作っていくことで、持続性のある活動を意識している。 指標 1-1) 研修前・後にテストを施行した。研修前に標準点に満たなかった者が31%であったのが終了後は19%に減少した。また高点であった者が11%であったのが19%に増加した。 指標 1-2) 現在現状分析中である。活動計画は今後行う予定である。 指標 1-3) 事業終了時に評価 (イ) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 成果 厚生省との調整を重ねながら、適切な手続きを踏みながら建設準備を進めている。土地を管理している行政や現在の土地使用者との譲渡契約などを済ませた。また、完成後の建設物を管理するコミュニティ委員会の設置・強化に関しても支援している。 指標 1) 事業終了時に評価
(4) 今後の見通し	(ア) 家庭保健ユニット強化・住民への啓発活動支援 研修は12月に終了する予定である。その後は中止になった研修を行ったり、補完研修を行ったり、フォローアップに充てていく。 活動サポートについては9月から保健推進員の企画する保健・予防活動を活発化させていく予定である。ユニットごとに保健推進員が中心となって活動計画書を作成し、それに基づいて活動を実施、幣団体の専門スタッフがモニタリングを行い、活動の分析・計画の修正を行いフォローアップしていく。また、今年の評価を踏まえて来年の年間活動計画書を共に作成する予定である。 (イ) サン・プラス家庭保健ユニット診療所の建設 9月に入札を開始し、建設会社と契約、着工の予定である。建設に

¹ SWOT分析とは、外部環境や内部環境を強み (Strengths)、弱み (Weaknesses)、機会 (Opportunities)、脅威 (Threats) の4つのカテゴリーで要因分析するもので、組織の戦略的計画ツールとして用いている。

	は 4～5 か月要すると見込んでいる。終了は 1 月末から 2 月中旬を予定している。
--	---